

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		東京書籍
総 評		<p>体験的な学習を取り入れた「出会う ふれ合う」が設けられ、各学年で多様な学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>学校調査においては、児童が親しみやすいイラストやデザインで興味をもって取り組めるという評価が見られた。</p> <p>発問例がいきなり内容項目を問うものが多く、そこに至るまでの葛藤場面や人間理解等でしっかりと押さえておくべき大切なポイントの取扱いが少ない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ ねらいに迫る発問が最後に適切に設定されている。④
	2 内容の取扱い	○ 「他教科との関連」紹介があり、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。①
	3 外的要素	○ 判型が小さく軽くて持ち運びやすい。① ○ 指導項目が分かりやすい。②
	4 構成・配列	○ 学んだことから、これからの思いや課題について考えたりできるような発問例がある。②
	5 資料・その他	○ 「つながる・広がる」のページは、写真が多く、学習内容に適したものになっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「話し合い」の仕方の部分においては、形式にとらわれたものが多く、主体的・対話的で深い学びになりにくい。③
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤場面の心のゆれに着目した発問例が少ない。②
	3 外的要素	○ 挿絵が小さい。特に低学年では大きさに工夫がいる。③
	4 構成・配列	○ 文字の多い話が早い時期に配列されていて、1年生にとっては難しい。①
	5 資料・その他	○ 読み物資料が少ない。また、あまり児童が興味を示さないと思われるものがある。② ○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		学校図書
総 評		<p>児童を主体的な学びに導くため、文学作品からスポーツ・芸術分野、身近な生活場面まで、多岐にわたる主題が取り上げられており、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>学校調査においては、「きづき」「まなび」の2冊によって、自ら課題を見つけ、思いや考えを表現できるよう工夫されているという評価が見られた。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「いじめ」「防災」「情報モラル」などの現代的な諸課題に対して多岐にわたる工夫がされており、配慮も行き届いている。①⑤
	2 内容の取扱い	○ 児童に身近な人物や様々な生き方を教材として取り上げることで、自己を見つめ、人としての生き方について深く考えられるように配慮されている。① ○ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を登場人物の心情理解に加えて、児童が自分のこととして考えられるように工夫されている。⑥
	3 外的要素	○ 文字の大きさは適切であり、それぞれの題材の内容の分量も学年の発達段階に応じて適切である。② ○ 4つの視点毎にページの色が分けられているのが分かりやすい。④
	4 構成・配列	○ 「内容項目別一覧」では、「キャリア教育」「いじめ対応」「情報モラル」など関連する現代的な諸課題を対応させているため、指導者が活用しやすい。① ○ 発達段階への配慮とともに、学校行事や他教科等の学習内容、伝統的な行事の実施時期などを考慮して教材が配列されている。①
	5 資料・その他	○ 「まなび」ノートでは、友達の考えを記入できるようになっており、自分以外に多様な考えがあることをつかめるような構成になっている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 感動を与える教材や名作が多いが、学年によっては難しいものもあり、1時間で指導が終わらないと考えられる。③
	2 内容の取扱い	○ 各教材の冒頭に「主題名」が挙げられておらず、児童が道徳的な価値と関連付けた思考を進めにくいと考えられる。
	3 外的要素	○ 挿絵や写真は鮮明でよいが、必要以上に大きいところがある。③ ○ 「まなび」を記入するます目が細かい方眼になっていて使いにくい。②
	4 構成・配列	○ 低学年の「まなび」ノートは、文字が多すぎて分かりにくい。①
	5 資料・その他	○ 「道徳の学習を始めよう」は、学習の手順や方法としては児童に分かりにくい。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		教育出版
総 評		いきなり内容項目を問わず、発問例が論理的に組み立てられており、児童が段階を追って考えられるよう配慮されている。 学校調査では現代的な諸課題をたくさん取り上げられているとの評価が見られた。 問題解決的な学習や対話を通じて自己の振り返りを促す点においては、他の発行者の方が優れている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「役になりきってみよう」のコーナーが多く、児童の発達段階を踏まえ、豊かな表現力を育成できるよう配慮されている。④
	2 内容の取扱い	○ 悩みや葛藤等、心の揺れの段階を児童が深く考えることができる発問が豊富で、最後に内容項目に沿った発問が「特に考えてほしいこと」として取り上げられ、その内容も適切である。②
	3 外的要素	○ 文字は高学年でも大きく行間も空いているので読みやすく、文字に抵抗を示す児童にとっても親しみやすい。④
	4 構成・配列	○ 内容項目の全体について取り扱い、学年、学期に応じて効果的に行えるように配列されている。① ○ ふりがながあり、指導しやすい。①
	5 資料・その他	○ 資料は学習内容に応じて正確に配列されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 何をどのように対話し、深い学びに導くのが、教科書だけでは分かりにくい。③
	2 内容の取扱い	○ 自らを振り返るような工夫は、あまり見られない。⑤ ○ 父親を扱った教材が多く、美しいもの＝父性と無理やり関連づけている感がある。①
	3 外的要素	○ 紙が薄く、製本が頼りない。① ○ 挿絵が小さい。高学年でも挿絵は重要である。③ ○ 表紙のイラストが親しみにくい。③
	4 構成・配列	○ これからの思いや課題について考える発問例が少ない。②
	5 資料・その他	○ 別冊として使える道徳「ノート」がない。① ○ 資料は内容に合った適切なものだが、児童の視点からは古く感じられ馴染みにくい。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		光村図書出版
総 評		<p>話し合いの仕方や考え方の手引きが豊富に書かれており、主体的に深く学べる工夫がある。</p> <p>また、各学年の学期ごとに学ばせたい重点がはっきり分かれており、発達段階に合わせて無理なく学習ができる。</p> <p>小型で内容もよいが、児童の考えを書くスペースが小さく、ワークシートなどの準備が必要になる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 児童が主体的に学習できるよう、呼びかけや話し合いの工夫の仕方などが分かりやすく示されている。③
	2 内容の取扱い	○ 発問が気持ちを問うだけでなく、様々な考えを引き出せるよう工夫されている。① ○ 教材の最後に学習の手引きがあり、学習の進め方や何を考えるべきかが明確であるため、どの児童にとっても学びやすくなっている。⑥
	3 外的要素	○ B5変形版で、他の発行者と比べて小さく扱いやすい。文字列がすっきりしていて読みやすい。② ○ 挿絵や表紙の絵が親しみやすく、問題を考える際の手がかりとしても使える。③
	4 構成・配列	○ 3学期分のまとまりに分かれており、まとまりごとに重点をおいて配列されている。1学期に周囲との関係に重点をおいた教材が配列されているので、学級経営にも生かしやすい。①
	5 資料・その他	○ 役割演技のヒントがたくさん書かれていたり、関連資料の紹介があったりするため、児童の関心を高め意欲を引き出しやすい。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 特になし。
	3 外的要素	○ 暗いイメージの挿絵や表情が分かりづらい挿絵がある。判型が小さい分、文字も他の発行者と比べて小さめになっている。② ○ 学習の流れは分かりやすいが、その分情報量が多くなり扱いづらいところもある。②
	4 構成・配列	○ 資料ごとに見開き単位になっていないため、集中できない児童もいるのではないかと思う。②
	5 資料・その他	○ 「考えよう 話し合おう」の文言が多く、扱いにくい。① ○ 「学びの記録」が学習のまとまりごとの最終ページにあるが、全て自由記述のため、書きづらい児童もいることが予想される。（ページを探しにくい）②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		日本文教出版
総 評		はじめに主題が書かれているため、児童の学びの手だてになる反面、ねらいとする価値が先に分かってしまうのではないかと考えられる。学校調査においては、「道徳ノート」は、中心発問のほか自由に書くスペースがあるため、多面的・多角的な意見をしっかりと記録できるように工夫されているという肯定的な意見が多かったが、反面、扱いにくいという意見もあった。他の項目において、肯定的な評価が多く見られた
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「人との関わりユニット」として、全学年に数回、いじめについて考える教材が重点として置かれている。⑤
	2 内容の取扱い	○ 有名な資料が多く、指導者が扱いやすいと考えられる。① ○ 現代の多様な課題について、適切に取り扱われている。学期に一度は、いじめ問題を重点的に扱うよう配慮されている。④
	3 外的要素	○ ユニバーサルデザインの専門家の校閲を受けているため、色覚的に見やすい。挿絵の大きさもよく考える手助けになるものが多い。④
	4 構成・配列	○ 学年の発達段階に合わせて適切に構成・配列されている。①
	5 資料・その他	○ ノートが別冊になっているので、指導者が評価しやすい。1つの発問のみで下半分は自由記述ができるので、「学期を通して分かったこと」など、児童の気づきを書かせやすい。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 学習の手引きは写真に吹き出しのみで、対話が苦手な児童にとっては、深い考えのヒントにはなりづらい。③
	2 内容の取扱い	○ 教材末の発問の中には、児童が考えにくいものもある。①
	3 外的要素	○ 判型が大きく、ノートも合わせるとかなりの厚さと重さになる。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 読み物は多いが、児童の興味をひくには不十分な資料も多い。① ○ 「命」を扱う教材が複数あるため、配慮が必要と考えられる。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		光文書院
総 評		<p>主体的・対話的に学習できるよう、「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」がそれぞれの題材に設けられ、よりよく生きるために深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>学校調査においては、題名の前に主題や問いかけの文があり、児童に考えさせるポイントが明示されていて、指導しやすいという評価が見られた。文字がやや小さく長文の題材もあり、学校の実態によっては合わない部分もある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 3年「きまりがあるわけ」4年「きまりを守る心」など、きまりを守ることについて深く考えさせ、行動に移せるような工夫がされている。①
	2 内容の取扱い	○ 身近な社会的課題について、自分との関係において考えられるよう、学校生活の場面だけでなく多様な教材を効果的に取り扱っている。④ ○ 3年「きまりは何のため」「クラスのまとまり」といった身近な教材で問題解決的な学習ができるよう工夫されている。⑥ ○ 児童にとって身近に感じられる地域の特色を生かした教材が取り上げられている。③
	3 外的要素	○ 「目次」のページに、「内容項目」だけでなく「〇年生でとくに考えたいこと」などが「マークの意味」として詳しく表示されていて、指導に生かせるよう配慮がみられる。④
	4 構成・配列	○ 各学年で取り上げられている内容項目を設定し、教材を複数・連続して配列している。① ○ 負担のない程度のコラムを設けて、児童の考えを広げられるよう工夫されている。②
	5 資料・その他	○ 「道徳の学習」について、学習の方法や場面、教科書の使い方などが丁寧に説明されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 高学年では発問が抽象的になる傾向がみられ、主体的・対話的な学習が展開しにくい。④
	2 内容の取扱い	○ 巻末にある「学びの足あと」は、何を書かせるとよいか分かりにくく使いづらい。③
	3 外的要素	○ 判型が大きく、別冊のノートがないのにも関わらず、分厚く重い。① ○ 文字の大きさ、フォントが他の発行者と比べて読みにくい。③
	4 構成・配列	○ 道徳の「ノート」が別冊としていないため、指導の効率化が図りづらい。②
	5 資料・その他	○ 「まとめる」「広げる」の問いかけが抽象的で書いたり話したりすることに課題がある。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		学研教育みらい
総 評		<p>低学年においては、挿絵や写真の人物の表情が分かりやすく、道徳的価値について考えることができる。学年があがるにつれ、文章の量が増えるが、文章中の言葉が児童にとって分かりやすく、また、実話を多く扱うなど、児童が主体的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>資料の中で、挿絵の色がやや濃すぎるものがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 道徳的価値について資料には明確に言葉で書き表されておらず、児童が主体的に考えることができる。③
	2 内容の取扱い	○ 低学年において大切な資料の挿絵や写真が表情豊かで、指導のねらいに即したものになっている。③ ○ 実話が多く扱われており、実在する人物を自分と比べながら、物事を多角的・多面的に考えられる内容になっている。①
	3 外的要素	○ 表紙が児童にとって親しみやすいデザインになっている。① ○ 文字の大きさが児童の発達段階に適している。②
	4 構成・配列	○ 6年間を見通して、内容項目についての学びがより深いものになるように配列されている。①
	5 資料・その他	○ 児童にとって分かりやすい文章の表現、言葉遣いになっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 問題提起が細かすぎる。③ ○ 教科書に書き込むところがあり、低学年には難しい。③ ○ 一部にしか、ふりがながない。④
	3 外的要素	○ 判型がやや大きく、児童によっては道具箱に入らない。①
	4 構成・配列	○ 特になし。
	5 資料・その他	○ 写真や挿絵がカラフルになった反面、視覚からの刺激に敏感な児童には読みにくい。① ○ 道徳の「ノート」ではなく、ワークシート集であるので印刷する必要がある。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

道 徳		廣 濟 堂 あ か つ き
総 評		<p>道徳の「ノート」があり、写真や絵などが美しく、児童が書くうえで手助けになる。また、学校調査において、感想を書く自由記述欄があることも授業の振り返りに生かすことができるという評価が見られた。</p> <p>資料の文中に使われている言葉が難しく、言葉の意味の説明が必要なものもある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 危険なことから身を守る方法を、中学年・高学年の教科書では具体的に扱っている。①
	2 内容の取扱い	○ 児童の日常生活を振り返り、反省したり課題を見つけたりしやすい文章構成になっている。④⑤
	3 外的要素	○ 挿絵や写真の色使いが温かい印象で、児童が親しみやすいデザインになっている。③④ ○ 写真や挿絵の色が鮮明すぎず、程よい程度である。④
	4 構成・配列	○ 学年が上がるにつれて、学んだことをさらに深く考えられるような構成になっている。学年が上がるにつれて、伝記の扱いが多くなっている。①
	5 資料・その他	○ 「学習の道すじ」に本時のめあてと発問が書かれており、児童が何について考えるとよいか明確になっている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 資料中に道徳的価値が端的に書き表されすぎており、主体的・対話的学習には適していない。③
	2 内容の取扱い	○ 問題解決的な学習ではなく、やや価値を押し付けている傾向がみられる。⑥
	3 外的要素	○ 文字が多すぎる。また、文字が他の発行者と比べて小さすぎる。②
	4 構成・配列	○ 内容項目の重なりが多い。①
	5 資料・その他	○ 物語の文字数が多く、使われている言葉も難しいので、補足説明を要する資料がいくつもある。① ○ 道徳の「ノート」が授業での発問に対応しておらず、扱いにくい。①